



日本建設産業職員労働組合協議会（日建協、田中宏幸議長）は、大学生を対象に建設業の魅力発信を目的に毎年度行っている出前講座を3日に開始した。初回は、富士教育訓練センター（静岡県富士宮市）に実習

のために訪れていた東洋大学、立命館大学、名城大学の建築系学生約30人に実施  
**写真。**日建協事務局、加盟組合の代表らが建設産業

## 日建協

の社会的な役割や、ゼネコンの仕事のやりがいなどを紹介した。出前講座は本年度で10年目を迎える。

同センターで行った出前講座で、時枝将雄日建協政策企画局長は「一人でも多くの学生に建設産業へ目を

# 全国6カ所が出前講座

## 大学生に仕事のやりがい伝える

向けてもらうため、産官学で一層の連携を図る必要がある」と指摘。その上で「働く者の目線で、建設業の社会的役割やゼネコンの仕事とやりがいについての生の声を伝えたい」と抱負を語った。

講座では、中村浩一日建協政策企画局長が建設産業の役割、加盟組合のアサヌマユニオンの藤浪渉氏が魅力やゼネコンの仕事のやりがいについて講義した。齊藤克巳日本建設業連合会広報部報道担当部長による建設産業の実情や展望に関する報告も行われた。

出前講座は06年から実施している。これまでに計46回行い、約3300人の学生が受講した。

本年度は6カ所で行う。開催場所と日程は次の通り。

- ▽富士教育訓練センター（静岡県富士宮市、9月3日）▽同（同、9月17日）
- ▽大阪産業大学工学部（10月19日、大阪府大東市）▽東洋大学理工学部（埼玉県川越市、10月30日）▽立命館大学理工学部（滋賀県草津市、11月上旬）▽北海道大学工学部（札幌市北区、11月20日）▽法政大学デザイン工学部（東京都新宿区、16年1月14日）。